

よい会社をつくらう よい経営者にならう よい経営環境をつくらう

9

september  
2020

山形県中小企業家同友会

# 月刊 同友 やまがた



山形支部8月例会



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
中小企業経営者の全国組織

2020年度スローガン

10年ビジョンを描き、  
地域と企業の持続性を追求しよう

# 対話からはじめる組織づくり



8月7日、やまぎん県民ホールにて、山形支部8月例会が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、山形の夏の風物詩である花笠まつりも中止となる中、山形支部から地域を元気にしようと、この日程での開催となりました。会場には参加者35名が集い、Zoom参加者21名と合わせて56名で学び合いました。

報告者には山形交響楽団の専務理事 西濱秀樹氏を迎え、『業績を改善するたった一つの方法』と題した報告がありました。西濱氏は、関西フィルハーモニー管弦楽団で経営改善を成し遂げた経験を評価され2015年に山形へ来県。当時の山形交響楽団は赤字が続き、マネジメントと音楽家の溝をはじめとする経営課題が山積する状態だったといいます。そこで西濱氏が最初にしたことはスタッフや楽団員の個人面談とヒアリングでした。着任後、約4か月をかけ、一人ひとりの話に耳をかたむけ、女性職員の待遇改善、ドラゴンクエストコンサート、集客のためのテレビCM放送など、スタッフや楽団員から寄せられた様々な意見や提案を行動に移しました。西濱氏は対話をする中で出た提案や要望に対し、すぐに決断し、具現化することで“自分たちの思いを組み立てていく、動いていく組織にすること”をみんなに意識づけていきました。

また、折に触れ、コミュニケーションをとりながら情報共有を行い、個々が折り重なり強さを持っていくことの大切さ、一つ一つの仕事を皆で担いながら進めていくことの重要性を伝えました。対話し、思いを共有することで、スタッフや楽団員の意欲と志気を醸成し、西濱氏の来県当時

57%程度であったコンサート来場率は、現在では95%まで上がりました。80%台に割り込んだ際には、問題意識を持ち、進んで検討会議が行われるなど、スタッフ自らが考え行動する組織に変革しました。

西濱氏は「話が出来るとしてもらえることが何よりも大切だ。経営者は自分たちの状況について説明をし続けていくこと、目標を言い続けていくことが大事。」と述べました。そして最後に「山響を世界に！」とこれからの熱意を語りました。

その後、「社員さんの本音を業務改善に活かしていますか？」をテーマとしてグループ討論が行われました。参加者は現状の認識や自身の体験を率直に語り合い、今後の実践や社内での貴重な意見を経営改善に活かす仕組みにするために何ができるかを考えあいました。参加者からは、「社員のモチベーションを上げるには話をするしかない」「対話をすることの重要性を実感した」「どんなときにもコミュニケーションが大切ということ。言う事を聞いてくれないのは信頼されていないから」「話をしたら何かが変わるとしてもらえるようにフォローやフィードバックも大切にしていこう」といった意見が寄せられ、盛会のうちに閉会となりました。

この規模でのZoomを活用したグループ討論は、山形同友会としても初開催となりましたが、Zoom参加の方からも、積極的かつ建設的に討論が行われたとする声が上がりました。山形同友会では、「活動を止めない」をキーワードに、ウィズコロナならではの開催方法を今後も検討してまいります。



# 自社の進むべき道を明らかに かがやく企業づくりを目指して



8月1日、「第25期経営指針をつくる会」がホテルシンフォニーに於いて開講し、受講生6名、修了生34名が集まりました。

冒頭、小川委員長が挨拶に立ち「経営指針の運動は、同友会の中では1丁目1番地と呼ばれている。同友会の真髄を知るためにも経営指針が絶対に必要だと言われており、山形の経営指針をつくる会も25期を迎えることが出来た。この経営指針は会社を良くするために作成するが、会社が悪い方を向いてしまう可能性もある諸刃の剣でもある。いかに本気で取り組んで自分に向き合うか、そこが重要なポイントになってくると思う。」と述べました。

続いて、菅原代表理事が「私も12期に受講し、6か月間経営とは何たるか、何の為に経営するのかをゼロベースで考えた。厳しかったが、あの時受けていなければどうなっていたかと思っている。本気で臨まず、中途半端な気持ちでは、経営が悪しき方向に向かってしまいかねないというところに経営指針の怖さがあるということを深く理解してほしい。人を生かす経営の本質について深められれば、ブレない経営ができる。皆さんも確信を持った中で経営されることを願っている。」と挨拶しました。

第1講では、「同友会らしい経営指針の確立～現状認識を深め、経営理念作成をめざして～」をテーマに山形大学大学院理工学研究科 ものづくり技術経営学専攻 専攻長・教授 小野浩幸氏が講義しました。組織文化を創るには組

織の運営姿勢が必要であり、運営姿勢については言葉として示されていることが大事であるとした上で、経営指針の明文化は①社員との信頼関係構築②経営指針の全社的な実践③社員共育の3つの大きな意義のために必要であることを説明しました。

第2講では、(株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋氏による「労使見解について学ぶ」と題した講義があり、『人を生かす経営』を輪読しながら、経営者の責任、労使関係にまつわる問題や課題について学び合いました。菅原氏は「経営者は理想をしっかりと思い描き、覚悟を持つことが重要だ。「正しい労使関係とは？」を定義づけるのが、指針の場。社員と信頼関係を築くのは簡単なことではない。社員の人となり成長まで分かっているか。理解の醸成をできているか。フィードバックやできないことこそ早く答え、諦めず継続的にどうやったらできるか発想することが重要だ。」と述べました。

2回の講義のあとには、「会社の現状はどうなっていますか？」「何のために経営していますか？」をテーマにグループ討論を行い、現状認識と会社経営の意義について考えを深め、経営理念を作成しました。2日目はできたばかりの経営理念を発表し、検討を行いました。

これから6名の受講者は、修了生と関わり合いながら、自分と会社と向き合い、見つめ直し経営指針書の完成を目指していきます。



## 支部からのお知らせ

# 庄内支部に地区会が発足!

新型コロナウイルスの影響など厳しい経営環境の中ではありますが、山形県内の支部の中で初めて地区会(酒田地区、鶴岡地区)が発足します。

厳しい時代を乗り切る企業の成長の為に、同友会で仲間と学び! 学びを実践! そこから得られる生きた経験を活かし、更なる成長が必要とされると考えます。

9月29日に酒田地区設立決起集会が開催されます。(詳細は例会案内欄へ)山形同友会の皆様、ぜひ庄内で学ぶ仲間をご紹介します!

## ▽ 書籍紹介 ▽



### 共に育つ3

中同協発行  
頒価 500円+税

「1.今こそ労使見解に学び、人を生かす経営の実践を進めよう(中同協元会長・赤石義博氏)」

「2.真の人を生かす経営の実践とは(対談:中同協前共同求人委員長・小暮恭一氏、中同協社員教育委員長・梶谷俊介氏)」

「3.中小企業の人材育成・社員教育(中同協企業研究センター副座長・植田浩史氏)」

を収録。採用活動と社員教育の在り方を学び、『人を生かす経営(労使見解)』の理解を更に深める一冊となっております。



### よい会社をめざす 「自他を決しておとしめない」 生き方と経営

中同協発行  
頒価 1,000円+税

中同協会長・広浜泰久氏(㈱ヒロハマ会長)が入社4年目に経験した労働組合との関係から、会社の適切な判断のあり方、社員との信頼関係のあり方、何よりも経営を維持し発展させていく経営者の責任について、具体的に振り返ることから始まる本書。同友会での学びを自社経営で実践し具現化してきた経緯と、それが同友会理念に裏付けられていることを、全文を通じて検証する内容になっています。



### 逆風をもって 「徳」とする

宮崎同友会  
「あかいし文庫」友の会・編  
頒価 1,500円+税

コロナ禍を受け、宮崎同友会内の「あかいし文庫」から緊急出版された書籍です。中同協元会長・赤石義博氏(故人)、拓新産業(株)会長・藤河次宏氏、エイベックス(株)会長・加藤明彦氏3名がオイルショック、パブル崩壊、リーマンショックを乗り越えてきた実践から、「人を生かす経営」の真髄を学びます。「危機において押さえておくべきポイントがすべて網羅されている(中同協会長・広浜氏の推薦文より)」一冊です。

# 9月例会のご案内

## 山形支部

### 新型コロナで 変わってしまった生活様式の中 全国初の販売法を発案した男の話

日時：2020.9.24(木) 18:30~21:00  
場所：山形テルサ 2階 リハーサル室  
報告者：(有)グッピー園 代表取締役 高橋 明氏

自宅で水族館の気分を味わってもらおうと完成型アクアリウムのデリバリー販売を発案された高橋明社長の話を基に「自分たちは何が出来るか」を考え、みんなで難局を乗り切ろう！

## 寒河江支部

詳細は追ってご連絡申し上げます。

## さくらんぼ支部

### コロナ時代の行動変容・意識変容・技術変容 「サービスロボットの今」

日時：2020.9.23(水) 18:30~21:00  
場所：東根市「まなびあテラス」講座室  
報告者：ビジネスソリューションパートナーズ(同)  
代表社員 佐々木 剛氏

近い将来、ロボットは様々な社会ニーズに対し、人と共生していくパートナーとして、活用が期待されています。本例会では、ロボットの実用化に向けて課題抽出から実証評価まで、社会と一体となってロボットを普及促進してきた活動や、ロボットに求められる様々な要素技術を早期に開発するため、企業や自治体、大学など多くの研究者と次世代プラットフォームを構築し、コミュニティでのサービスモデルを開発する活動経験から、コロナ禍で求められる人の意識変容・行動変容から、ロボットの技術変容、それらが今後の社会実装へと進む「コロナ時代のサービスロボット」について、実践に取り組む佐々木氏から多くの事例を紹介します。お誘い合わせの上、ご参加ください。

## 新庄最上支部

### これからのコロナ対策の取り組み

日時：2020.9.29(火) 18:30~21:00  
場所：わくわく新庄  
講師：(株)滝の湯ホテル  
代表取締役 山口敦史氏

## 置賜支部

### Withコロナ対策 わが社のIT活用を考える

日時：2020.9.30(水) 18:30~21:00  
場所：伝国の杜  
報告者：ハンズバリュー(株)  
代表取締役 島田慶資氏

中小企業のホームページ制作、マーケティング支援など、「心をつなぐ仕事」を展開するハンズバリュー(株)では、女性の社員さんが育児をしながら働ける会社づくりが進んでいます。その一環として在宅ワークも取り入れ、平成30年度の「山形いきいき子育て応援企業」のダイヤモンド企業にも認定されています。新型コロナウイルス感染症によって、外出自粛・リモートワーク・在宅ワーク・IT利用と、私たちの生活や仕事、働き方などが大きく変わってきています。変化にどう対応していくのか。置賜支部9月例会では、島田慶資社長より「With コロナ」の時代を乗り切るためのIT活用について、経営実践を交えてお話しいただきます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

## 庄内支部

### 酒田地区設立決起集会

記念講演 「同友会の学びが会社を変える」

日時：2020.9.29(火) 17:00~20:40  
場所：ホテルリッチ&ガーデン酒田  
講師：(株)ティスコ運輸

代表取締役 菅原茂秋氏

庄内支部では、同友会活動をさらに活性化させるべく、地区会設立の取り組みを進めてまいりました。昨年度からの準備会などを通じて、地域の経営者に経営を学ぶことの大切さ、地域を支える中小企業の使命をご理解いただき、今年度の支部総会決議を経て、このたび念願の酒田地区会を設立する運びとなりました。記念講演には菅原代表理事を迎え、同友会の全体像とともに、同友会を自社にどう活用して成果を上げたかをご講演いただきます。新会員さんは同友会で何を学ぶか・どう活かすかを知り、ベテランの会員の方は更に深められればと思います。盛大にキックオフし、庄内の明るい未来を私たちの手で開いていきましょう！

※懇親会は「新しい生活様式」に合わせた形式となりますので、予めご了承ください。

**■開会挨拶**

菅原代表理事が「新型コロナ感染者が5万人を超え、今後については様々な意見がある。オンライン化の流れから、当社でも出張に行かなくても情報が確保できると感じている。各社においても様々な変化が起きていると思われるが、取り残されずに、こういう時だからこそ新たな価値を創る必要がある。そのために同友会の活動を止めずに進んでいこう」と述べました。

**■報告事項**

- 1) 豪雨による会員企業の被害状況について  
川合代表理事より直接被害があった3社へ会規定に基づいてお見舞いをする事が報告されました。
- 2) 北海道東北ブロック代表者会議 7月10日 zoom開催  
後藤副代表理事よりコロナ禍における課題は各同友会で共通であったこと、8月に予定されていた北海道・東北ブロック支部長地区会長交流会in宮城は来年へ延期されることが報告されました。
- 3) 中同協第52回定時総会 7月14日 zoom開催  
後藤副代表理事より提案議題がすべて可決されたことの報告がありました。
- 4) 中同協第1回幹事会 7月14日 zoom開催  
後藤副代表理事が中同協の役員、来年3月の中小企業問題全国研究集会in福島など全国行事の準備状況について報告しました。
- 5) 第25期経営指針をつくる会開講  
小川理事より6名の受講生を迎え、3ヶ月延期して8月1日に開講したことが報告されました。
- 6) 2020年度7月次報告  
矢作事務局長から7月の月次報告がありました。
- 7) 2020年度7月次決算報告  
矢作事務局長から7月の月次決算報告がありました。

**■承認事項(入・退会承認)** 1名入会 4名退会 417名

**■討議事項**

**議題1:中同協第3回新型コロナウイルス感染症等緊急アンケート集約について**

川合代表理事より山形の調査結果の報告があり、コロナ感染症によるマイナスの影響がほとんどの企業に及んでいること、経済活動が動き始めているが依然厳しい状況であること、持続化給付金をはじめとした各種制度を多くの会員企業が活用していること、付加価値増大・新規受注など、売上・利益の確保が課題となっていることを確認しました。

**議題2:県議会商工観光常任委員会との意見交換会について**

川合代表理事の提案で8月26日(水)10:30~11:30にTISカンファレンスセンターに於いて開かれる意見交換会の出席者の確認と内容について検討が行われました。

**議題3:BC講座のまとめ**

菅原代表理事より、7月15日の講座に57名、8月の連続講座に32事業所より参加があったBC講座の成果と課題、講師料の支出の提案があり、承認されました。

**議題4:組織強化について**

菅原代表理事の組織委員会の報告に続いて、佐藤(栄)理事より9月29日に酒田地区会の発足式を行うことが提案され、開催要項が承認され、企画内容については懇親会の開催などが検討されました。

**議題5:人を生かす経営オープンセミナーについて**

菅原代表理事より山形同友会としてはサテライト会場を設けず

zoomのみの参加とすることが、提案され承認されました。

**議題6:事務局に関する件**

半澤専務理事が社有車マーチの故障により、リースで入れ替えることを提案し、承認されました。新たなリース契約についてはe.doyuで会員企業へ公募することとなりました。自家用車の業務利用については、規定を見直して再度検討することとなりました。

**■その他**

- 1)九州の豪雨の支援について  
九州の豪雨支援の対応について検討が行われました。
- 2)他機関からの申し入れ
  - ①原田東北財務局長、近野山形財務事務所長と地域連携などについて懇談予定。  
●日時:9月3日(木)14:30~ ●場所:同友会事務局
  - ②山形大学より文部科学省「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」の事業協働機関への参画依頼があり引き受けることを決めました。
  - ③第1回やまがた氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議に佐藤共同求人委員長が出席予定  
●日時:9月8日(火)10:00~12:00  
●場所:山形労働局大会議室
  - ④秋田大学主催の地域連携懇談会フォーラム「地域の次世代を育てる産学連携インターンシップ」で山形大学松坂准教授と佐藤共同求人委員長が報告予定。
- 3)今後の予定について
  - 8月20日(木)  
2020組織強化会員増強全国交流会 13:30~15:30(Zoom)
  - 8月24日(月)幹部社員研修第1講 18:00~21:00
  - 8月26日(水)  
県議会常任委員会との意見交換会 10:30~11:30
  - 8月26日(水)第1回女性部連絡会 13:00~16:00(Zoom)
  - 8月29日(土)  
第25期経営指針をつくる会第2講 9:00~17:00
  - 9月10日(木)幹部社員研修第2講 18:00~21:00
  - 9月17日~18日 青年経営者全国交流会(Zoom)
- 4)次回理事会の予定
  - 日時:9月9日(水)15:00~17:00
  - 会場:TISカンファレンスセンター

**■閉会挨拶**

阿部副代表理事が「県議会との意見交換会をはじめ各機関からの申し出があり、同友会の歩みを止めない活動が認められてきていると思う。理事の皆様にもそれに値するような経営をしていただきたい。また、酒田地区会の設立も盛大に祝いたい。各地域から大勢で参加できるよう、ご協力をお願いしたい」と述べました。



**新会員  
紹介**

たかはし てつろう

◆ **高橋 哲郎氏**

(株)Hair with water  
店長  
美容業  
山形支部



山形県中小企業家同友会

# 委員会だより

2020年度第2号 2020.9.1 発行  
山形県中小企業家同友会  
山形市漆山大段 1865-5 TIS BLDG.201  
TEL : 023-615-8302  
HP : <http://yamagata.doyu.jp/>

## 【経営指針委員会】

経営指針委員会は『経営指針をつくる会』修了生の希望者と受講後 3 年未満の修了生で組織しております。これまでは経営指針をつくる会のプログラムや運営に偏った運営となっておりましたが今期の山形同友会スローガンでもある『10年ビジョンを描き、地域と企業の持続性を追求しよう』を基に毎月第3木曜日17時より運営と学習会を開催しております。

経営指針委員会の今期のスローガンは『外部環境を捉え、事業領域を考え、経営指針の実践を』です。1、労使見解からの学びを実践で深めよう。2、定義した指標を基に企業実践を推進しよう。3、修了生も学べる「経営指針をつくる会」を開催する。4、委員会内での学習会は「月次決算」をテーマとする。5、各支部の幹事候補をつくる会から育成する。の5大テーマで今年度はスタートしております。

今年は感染症の影響もあり『第25期経営指針をつくる会』は8月1日の開講となりました。今年度は受講生6名の参加で第1講がスタートしており修了生も33名の参加で口火を切りました。昨年同様講義は山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻選考長小野浩幸教授より『同友会らしい経営指針の確立』と題し講義をいただき、午後は菅原代表理事より『労使見解について学ぶ』と題し講義をしていただきました。受講生にとっては入会間近の方もいましたが身が引き締まる、中小企業家同友会らしい第1講となったのではないかと思います。その後グループ討論を経て初日で今の想いをシートに表すために夜遅くまで受講生は経営理念を練りだし、修了生はそんな受講生に寄り添い互いに学びの深い1日になった。これまで通りにいかない事もあったが出来ることをしっかりとできた第1講でした。第2講も10年ビジョン検討のための修了生を含めたワークショップ型にすることで受講生は自社の将来を考え、修了生は自社に戻り社員と共に考えるいい機会となったのではないのでしょうか？

第3講以降も受講生だけでなく参加する修了生にも学びを深める『第25期経営指針をつくる会』にしてまいりますので修了生の皆さんからのたくさんの参加をお待ちしております。

第3講は10月8日木曜日中同協経営労働委員会副委員長（株）山田製作所山田茂会長を迎え講義をいただきます。経営指針成文化と実践の手引きや働く環境づくりの手引きなどの監修も手掛けたミスター同友会の講義を基に経営方針の作成と検討、労使見解、経営方針作成のための自社分析、同友会の真髓を学ぶ会としたいと思います。

第4講は11月21日土曜日奥山経営センター税理士奥山亨氏から講義をいただき財務の構築、理念から計画までの整合性、財務体質の強化を中心に学びます。

第5講は12月17日木曜日経営理念の追求、行動につながる経営指針の検討、組織づくりを学び株式会社フロッタの五十嵐取締役役の人材育成、組織の視点についての講義をしていただきます。

2021年1月21日は発表会が開催されます。